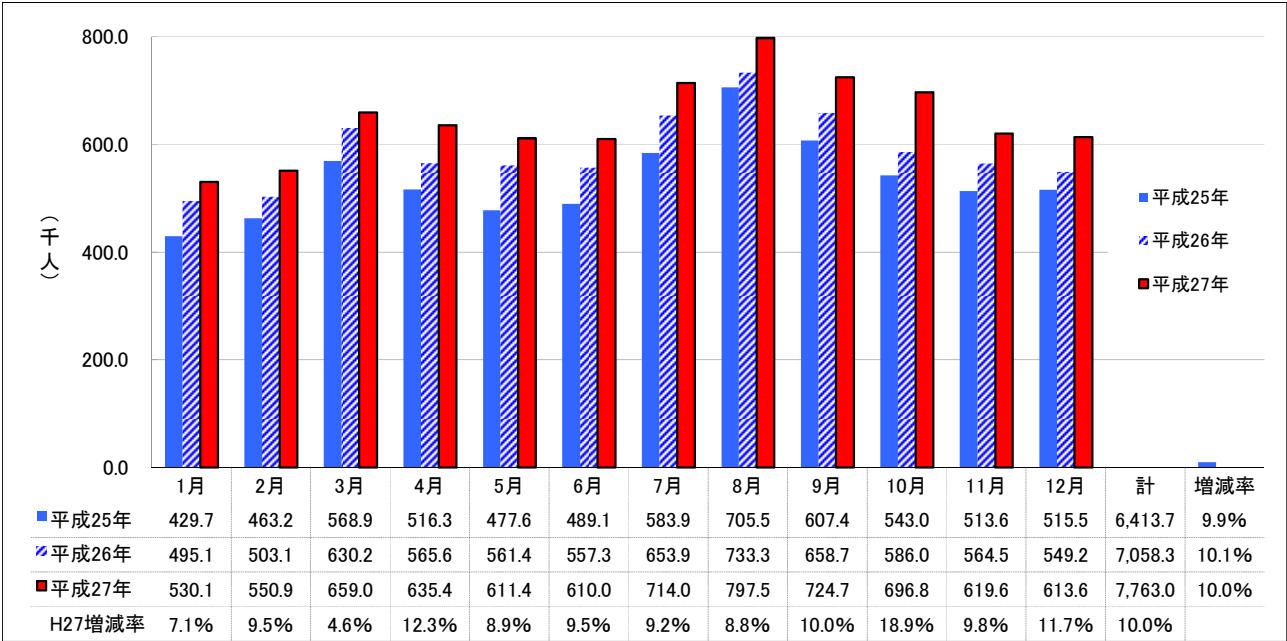


# 平成 27 年 沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課  
平成 28 年 1 月発表

**平成 27 年（暦年）の観光客数は、776 万 3,000 人で過去最高**  
対前年（H26）比 +70 万 4,700 人、+10.0%

## ■月別入域観光客数の推移（平成 25 年～平成 27 年）



## ■平成 27 年の概況（総括）

平成 27 年の入域観光客数は 776 万 3,000 人で、前年比で 70 万 4,700 人、率にして 10.0%の増加となり、3 年連続で国内客・外国客ともに過去最高を更新した。外国客においては初の 150 万人台を記録した。

昨年に続き、月別では、全ての月において前年同月を上回るとともに、各月の過去最高記録を更新した。

前年と比べて増加した要因は次の通りと考えられ、特に外国客の増加が大きく寄与している。

- 円安の継続に伴う国内および訪日旅行需要増
- 海外航空路線の拡充・クルーズ船の寄港回数増による外国人観光客の大幅増
- 国内外における官民上げての継続したプロモーション活動

## ■平成 28 年の見通し

景気は緩やかな回復基調にあることや、各航空会社による航空路線拡充の動きがあることから、国内観光地との競争が想定されるものの、国内旅行市場は堅調に推移するとみられる。

また、外国客については、新興国経済の先行きが懸念されるものの、台湾路線において LCC による航空路線拡充の動きがあることや、クルーズ船の寄港回数が昨年を大幅に上回る予定となっていることなどから、引き続き、好調に推移すると見込まれる。

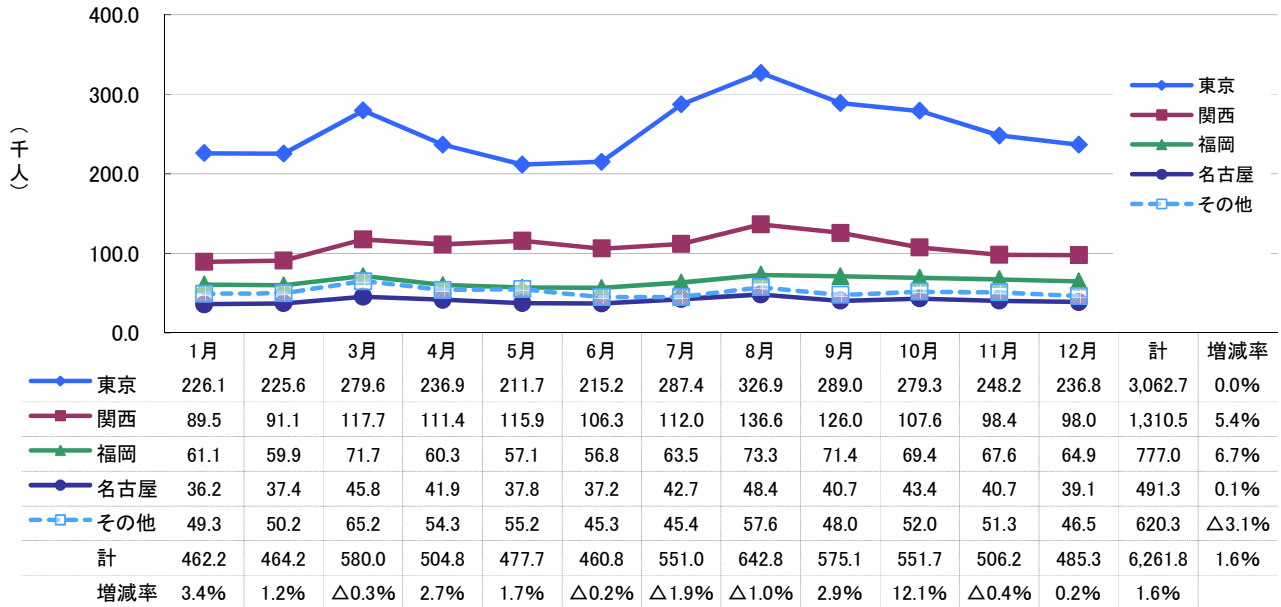
秋には、大規模な学術会議や、第 6 回世界のウチナーンチュ大会が予定されており、国内外からの誘客効果が期待出来る。

## 国内観光客の動向

### ■入域観光客数（国内）

平成 27 年の国内客は、626 万 1,800 人で、前年比で 9 万 7,000 人、率にして 1.6%の増加となり、過去最高となった。これまでの国内客の過去最高の入込は、平成 26 年の 616 万 4,800 人。

### ■平成 27 年国内観光客の状況（方面別の月別推移）



### ■国内観光客の概況

平成 27 年は夏場の数回にわたる台風の影響があったものの、円安および景気回復基調が継続し、全体として国内旅行需要は堅調に推移した。一部の航空会社による成田－那覇路線などの運休の影響が懸念されたが、羽田－石垣路線の増便や、名古屋－那覇路線の新規就航を含む LCC を中心とした航空路線の拡充により、前年を上回った。

#### 【方面別の動向】

東京方面 成田路線の入込は減少したものの、羽田－石垣路線の増便等により羽田方面で好調を維持し、前年並みとなった。

関西方面 LCC を中心とした関西－那覇路線の入込増が全体を押し上げるとともに、伊丹－那覇路線や数年ぶりに再開した関西－宮古路線が好調であったこと等から、前年を上回った。

福岡方面 福岡－那覇路線において、各航空会社による提供座席数が増加したことにより、入込客数が好調を維持し、前年を上回った。増加率は主要方面で最も高かった。

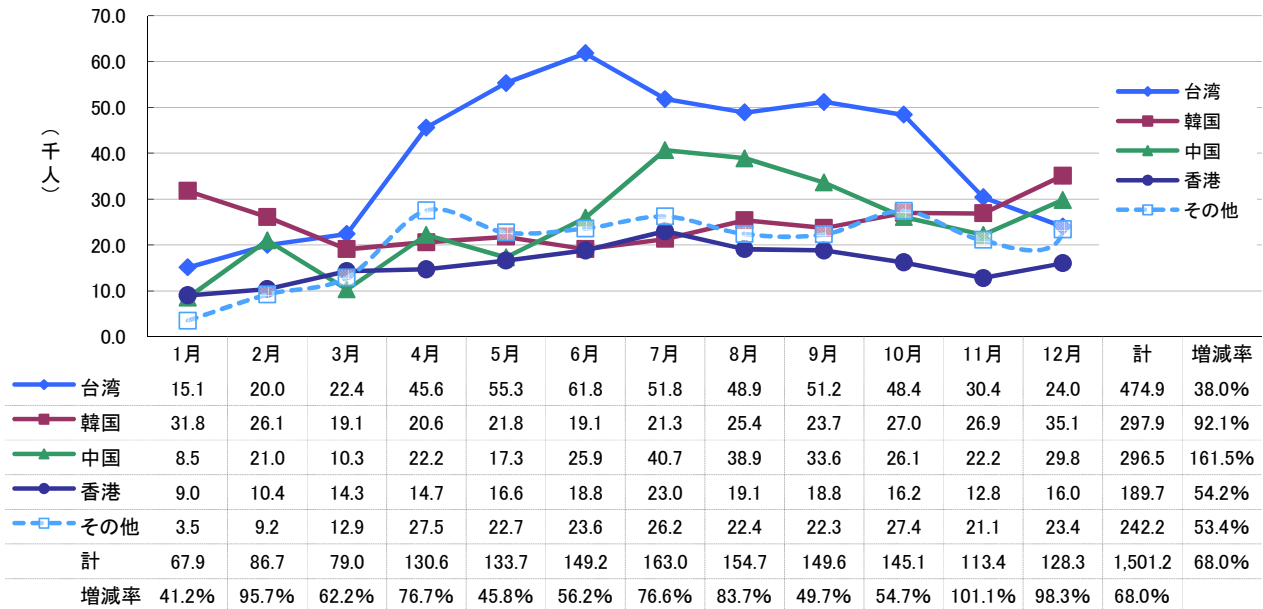
名古屋方面 一部の航空会社の減便があったものの、LCC 等の名古屋－那覇路線の新規就航により全体の入込客数は堅調に推移し、前年並みとなった。

## 外国人観光客の動向

### ■入域観光客数（外国）

平成 27 年の外国客は、150 万 1,200 人で、前年比で 60 万 7,700 人、率にして 68.0%の増となり、国内客同様過去最高、初の 150 万人台を記録した。これまでの外国客の過去最高の入込は、平成 26 年の 89 万 3,500 人。

### ■平成 27 年外国人観光客の状況（方面別の月別推移）



### ■外国人観光客の概況

平成 27 年も円安が継続し、訪日旅行需要が高かったことに加え、重点市場（台湾、韓国、中国、香港）において路線の新規就航および既存路線の増便があり、空路客が増加した。

また、クルーズ船の例年より長い運航期間と寄港回数増により、海路客も大幅に増加した。

#### 【国籍別の動向】

**台湾** 台北-那覇路線の増便やLCCの新規就航に加え、クルーズ船寄港回数の増加により、空路・海路客ともに増加、過去最高であった昨年を上回り、初の 40 万人台となった。

**韓国** ピーチアビエーションや韓国LCC3社の相次ぐ新規就航などにより航空路線が拡充し、空路客を中心に増加、過去最高を記録し、30万人に迫る客数となった。

**中国本土** 天津や杭州などの相次ぐ新規路線の就航や、中国発着クルーズ船の増加などにより、空路・海路客ともに増加、過去最高となった。2位の韓国に迫る客数となった。

**香港** ピーチアビエーションの香港-那覇路線の新規就航や、香港発クルーズ船の寄港により、空路・海路客ともに増加、過去最高となった。